
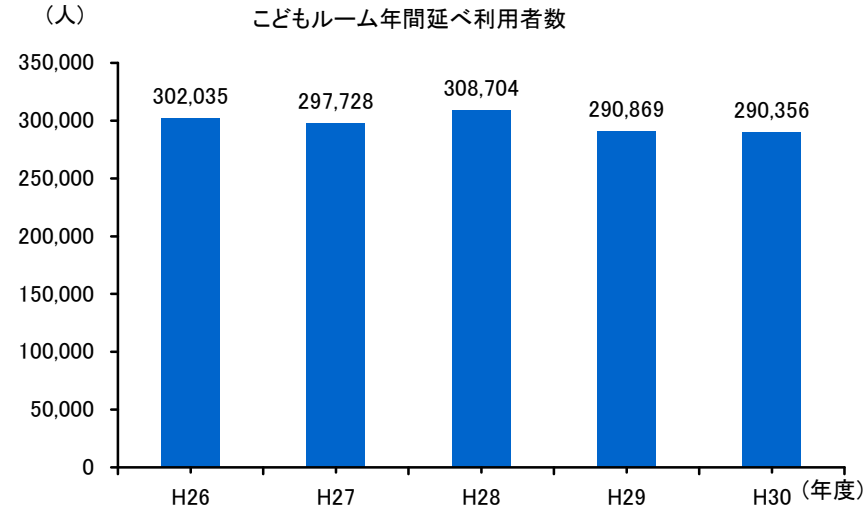


(仮称) 第 2 期すくすく大分っ子プラン (案)

～分野 4 社会全体での支援～

<基本施策と事業・取組>

分野	4 社会全体での支援		
目標	9 子どもと子育てを支える社会づくり	基本施策	①地域における子育て支援拠点の整備と充実 地域における子育て支援拠点の充実
現 行 計 画		次期計画案	見直し理由等
<p><現状></p> <p>・本市では市内 11ヶ所にこどもルームを設置し、地域における子育て支援拠点として親子の遊びの場や交流の場を提供するとともに育児等の相談を受けています。また、平成25年7月にホルトホール大分内に子育て、親育ての中核的な施設となる子育て交流センターを設置しました。これに伴い、こどもルームの延べ利用者数は、平成25年度に288,280人と、前年度に比べ約96,000人の増加となりました。</p>  <p><課題></p> <p>・こどもルームにおいて、育児相談を受ける体制を整えるとともに、地域の子育てサロンへの活動支援を行い、地域住民との連携を図ることで、身近な地域における子育て支援を進める取組が必要です。</p>		<p><現状></p> <p>・大分市では子育て、親育ての中核となる子育て交流センターと、市内11カ所にこどもルームを設置し、地域における子育て支援拠点として親子の遊びの場や交流の場を提供するとともに、育児相談を行っています。</p> <p>・平成30(2018)年度のこどもルームの延べ利用者数は290,356人でした。平成25(2013)年度の子育て交流センター設置に伴い利用者数が大きく増加し、以降は29~30万人前後で推移しています。</p>  <p><課題></p> <p>・子育てサロン等地域で子育て支援を行っている団体への活動支援を充実させ、地域住民との連携を深め、身近な地域における子育て支援を進めるさらなる取組が必要です。</p>	<p>地域子育て支援室…行政、地域、その他の団体が一体となって地域で子育てを支援できるようにサポートを行う子育ての総合的な拠点です。保護者が「親」として育つための場づくりや情報提供、子育て相談(電話、面接、訪問)を行ったり、また地域で運営されている子育てサロンやサークルに対して運営方法や遊びの相談等、地域に訪問して支援活動を行っています。</p> <p>子育てサロン…主に地域の子育てボランティア、民生委員児童委員・主任児童委員等が組織しており、子育て中の親子が気軽に集う、ふれあいの場として開設しています。</p>

(仮称)第2期すくすく大分っ子プラン(案)

<基本施策と事業・取組>

分野	4 社会全体での支援		
目標	9 子どもと子育てを支える社会づくり	基本施策	①地域における子育て支援拠点の整備と充実 地域における子育て支援拠点の充実
現 行 計 画		次期計画案	
<p>〈主な事業・取組〉</p> <p>①子育て交流センターでの総合的な子育て支援の推進（※K-1 地域子育て支援拠点事業） 子育て交流センターに、地域子育て支援室、こどもルーム、子育てファミリー・サポート・センター等の子育て支援機能を集約し、総合的な相談・支援体制の強化を図ります。核となる地域子育て支援室では、育児相談や子育て情報の提供を図るとともに、地域で活動している子育て団体と連携を図り、地域の子育て力の強化を図ります。</p> <p>②こどもルーム事業（※K-2 地域子育て支援拠点事業） 市内11か所のこどもルームにおいて、親子の遊び場を提供し、親や子の交流を図るとともに、育児相談も行い、身近な地域で安心して子育てができる環境を整備します。</p> <p>③子育ての集い 地区公民館で、「子育ての集い」「乳幼児家庭教育学級」「子ども対象教室・講座」等を開催することにより、子どもの発達や心理、遊び等について学習する機会を提供し、家庭の教育力の充実を図るとともに、地域で子どもを育てるためのネットワークづくりを推進します。</p>		<p>〈主な事業・取組〉</p> <p>①地域における子育て支援の推進（※K-1 地域子育て支援拠点事業） 子育て交流センターに、地域子育て支援室、こどもルーム、子育てファミリー・サポート・センター等の子育て支援機能を集約し、総合的な相談・支援体制の強化を図ります。核となる地域子育て支援室では、育児相談や子育て情報の提供を行い、地域で活動している子育て団体と連携を図り、地域の子育て力の強化を目指します。</p> <p>②こどもルーム事業（※K-2 地域子育て支援拠点事業） 市内11か所のこどもルームにおいて、親子の遊び場を提供し、親や子の交流を図るとともに、育児相談も行い、身近な地域で安心して子育てができる環境を整備します。</p> <p>③「家庭の日推進事業」 地区公民館単位で「家庭の日推進事業」を実施し、地域の特色に応じた活動を通して親子の絆や家庭の在り方について学び、「家庭の日」の意義を再確認することで、家庭教育力の向上を図ります。</p>	
		見直し理由等	
		③子育ての集いなどを含め、今後は13地区公民館単位で「家庭の日」を啓発する事業を実施していくことから項目を変更しました。	

(仮称)第2期すくすく大分っ子プラン(案)

<基本施策と事業・取組>

分野	4 社会全体での支援																																					
目標	9 子どもと子育てを支える社会づくり	基本施策	①地域における子育て支援拠点の整備と充実 地域における子育て支援拠点の充実																																			
現 行 計 画		次期計画案																																				
<個別事業の指標> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>指標</th> <th>H25実績</th> <th>H31目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①子育て交流センターでの総合的な子育て支援の推進</td> <td>子育てサロン・サークル支援回数</td> <td>23回 (H25新規)</td> <td>36回</td> </tr> <tr> <td>②こどもルーム事業</td> <td>こどもルーム年間延べ利用者数</td> <td>288,280人</td> <td>300,000人</td> </tr> <tr> <td>③子育ての集い</td> <td>地域の子育て支援者の参加人数</td> <td>114人</td> <td>150人</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	指標	H25実績	H31目標	①子育て交流センターでの総合的な子育て支援の推進	子育てサロン・サークル支援回数	23回 (H25新規)	36回	②こどもルーム事業	こどもルーム年間延べ利用者数	288,280人	300,000人	③子育ての集い	地域の子育て支援者の参加人数	114人	150人	<個別事業の指標> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>指標</th> <th>H30(2018)実績</th> <th>R6(2024)目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①地域における子育て支援の推進</td> <td>子育てサロン・サークル支援回数</td> <td>68回</td> <td>70回</td> </tr> <tr> <td>子育てボランティアの育成研修等開催回数</td> <td>3回</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>②こどもルーム事業</td> <td>こどもルーム年間延べ利用者数</td> <td>290,356人</td> <td>300,000人</td> </tr> <tr> <td>③「家庭の日推進事業」</td> <td>「家庭の日推進事業」実施地区数</td> <td>5地区</td> <td>13地区</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	指標	H30(2018)実績	R6(2024)目標	①地域における子育て支援の推進	子育てサロン・サークル支援回数	68回	70回	子育てボランティアの育成研修等開催回数	3回	6回	②こどもルーム事業	こどもルーム年間延べ利用者数	290,356人	300,000人	③「家庭の日推進事業」	「家庭の日推進事業」実施地区数	5地区	13地区
事業名	指標	H25実績	H31目標																																			
①子育て交流センターでの総合的な子育て支援の推進	子育てサロン・サークル支援回数	23回 (H25新規)	36回																																			
②こどもルーム事業	こどもルーム年間延べ利用者数	288,280人	300,000人																																			
③子育ての集い	地域の子育て支援者の参加人数	114人	150人																																			
事業名	指標	H30(2018)実績	R6(2024)目標																																			
①地域における子育て支援の推進	子育てサロン・サークル支援回数	68回	70回																																			
	子育てボランティアの育成研修等開催回数	3回	6回																																			
②こどもルーム事業	こどもルーム年間延べ利用者数	290,356人	300,000人																																			
③「家庭の日推進事業」	「家庭の日推進事業」実施地区数	5地区	13地区																																			
(成果指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H25実績</th> <th>H31目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こどもルームでの育児等相談件数</td> <td>1,138件</td> <td>増加</td> </tr> </tbody> </table>		指標	H25実績	H31目標	こどもルームでの育児等相談件数	1,138件	増加	<成果指標> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H30(2018)実績</th> <th>R6(2024)目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こどもルームでの育児等相談件数</td> <td>3,420件</td> <td>増加</td> </tr> </tbody> </table>		指標	H30(2018)実績	R6(2024)目標	こどもルームでの育児等相談件数	3,420件	増加																							
指標	H25実績	H31目標																																				
こどもルームでの育児等相談件数	1,138件	増加																																				
指標	H30(2018)実績	R6(2024)目標																																				
こどもルームでの育児等相談件数	3,420件	増加																																				
		①地域で活動している子育て支援団体と連携し、地域の子育て力の強化を図る取組を進めるため追加しました。																																				

<基本施策と事業・取組>

分野	4 社会全体での支援																																					
目標	9 子どもと子育てを支える社会づくり	基本施策	②地域住民との連携による子どもや家庭への支援推進																																			
	現行計画	次期計画案	見直し理由等																																			
〈現状〉 ・核家族化や、人間関係の希薄化により、家庭で乳幼児を抱える保護者が孤立しがちです。身近な地域での子どもや子育てへの支援の重要性が高まっています。	〈現状〉 ・核家族化や、 地域のつながり の希薄化により、家庭で乳幼児を抱える保護者が孤立しがち になっており 、身近な地域での子どもや子育てへの支援や 世代間交流 の重要性が高まっています。 ・ひとり親世帯や共働き世帯では、 下校後、子どもが一人で食事をとる、いわゆる孤食が見受けられ、好きなものばかりを食べがちになることで栄養が偏るなど、健康や身体の成長への影響や、家族のコミュニケーションが不足することで社会性や協調性をはぐくむ機会の減少が懸念されています。 ・ 子どもや子育てへの支援を含め、地域や家庭が抱える課題は複雑化・多様化しており、従来の縦割りで整備された相談支援体制では支援が硬直化してしまうケースも見受けられます。	新規事業の地域多世代ふれあい交流事業に関連し、世代間の交流に関する現状を追加しました。 (地域福祉の考え方を追加) 社会福祉法に基づき地域福祉の推進を図ることとされており、今回法改正により制度間を横断した相談支援体制の構築を目指す事が市町村の努力義務となったため、追加しました。																																				
・「大分市子育てに関するアンケート調査」の結果によると、子育てが地域の人に支えられていると感じると答えた保護者の割合は就学前で 55.1%、小学生で 62.9%となっています。(それぞれ「十分感じる」「まあまあ感じる」の合計)	・「大分市子育てに関するアンケート調査」の結果によると、子育てが地域の人に支えられていると感じると答えた保護者の割合は就学前で 59.6% 、小学生で 62.2% となっています。																																					
<p>子育てが地域の人に(もしくは社会で)支えられていると感じますか</p> <table border="1"> <caption>子育てが地域の人に(もしくは社会で)支えられていると感じますか</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>就学前 (%)</th> <th>小学生 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>十分感じる</td> <td>9.9</td> <td>11.0</td> </tr> <tr> <td>まあまあ感じる</td> <td>45.2</td> <td>51.9</td> </tr> <tr> <td>あまり感じない</td> <td>32.5</td> <td>29.6</td> </tr> <tr> <td>まったく感じない</td> <td>8.9</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>3.4</td> <td>1.5</td> </tr> </tbody> </table>	回答	就学前 (%)	小学生 (%)	十分感じる	9.9	11.0	まあまあ感じる	45.2	51.9	あまり感じない	32.5	29.6	まったく感じない	8.9	6.0	無回答	3.4	1.5	<p>子育てが地域の人に(もしくは社会で)支えられていると感じますか</p> <table border="1"> <caption>子育てが地域の人に(もしくは社会で)支えられていると感じますか</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>就学前児童 (%)</th> <th>小学生 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>十分感じる</td> <td>10.1</td> <td>10.5</td> </tr> <tr> <td>まあまあ感じる</td> <td>49.5</td> <td>51.7</td> </tr> <tr> <td>あまり感じない</td> <td>30</td> <td>28.8</td> </tr> <tr> <td>全く感じない</td> <td>7.8</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>2.6</td> <td>1.6</td> </tr> </tbody> </table>	回答	就学前児童 (%)	小学生 (%)	十分感じる	10.1	10.5	まあまあ感じる	49.5	51.7	あまり感じない	30	28.8	全く感じない	7.8	7.5	無回答	2.6	1.6	
回答	就学前 (%)	小学生 (%)																																				
十分感じる	9.9	11.0																																				
まあまあ感じる	45.2	51.9																																				
あまり感じない	32.5	29.6																																				
まったく感じない	8.9	6.0																																				
無回答	3.4	1.5																																				
回答	就学前児童 (%)	小学生 (%)																																				
十分感じる	10.1	10.5																																				
まあまあ感じる	49.5	51.7																																				
あまり感じない	30	28.8																																				
全く感じない	7.8	7.5																																				
無回答	2.6	1.6																																				

(仮称)第2期すくすく大分っ子プラン(案)

<基本施策と事業・取組>

分野	4 社会全体での支援		
目標	9 子どもと子育てを支える社会づくり	基本施策	②地域住民との連携による子どもや家庭への支援推進
	現 行 計 画	次期計画案	見直し理由等
	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育て支援団体から、活動を充実させるための支援や運営上の支援を求める声が出ています。また子育て世代に対し、地域活動への参加を求める声も出ています。 ・子どもたちにとって、小学校だけでなく身近な地域での様々な体験活動や高齢者との交流等が幅広い人間性を養うために必要です。 <p><主な事業・取組></p> <p>①地域コミュニティ子育て応援事業 地域のボランティアを主体とし、就学前児童とその保護者が気軽に集まれる場の提供を行う団体に活動費の助成を行います。地域の人に見守られながら参加者同士で交流を深めたり、情報交換を行うなど、住み慣れた地域で安心して子育てができる環境づくりを行います。</p> <p>②ご近所の底力再生事業 自治会が行う子どもの見守り活動や伝統行事の継承活動などに対し財政上の支援をし、地域における青少年の健全育成や世代間交流の促進を図ります。</p>	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育て支援団体からは、活動の充実や運営上の支援を求める声があります。また子育て世代に対し、地域活動への参加を求める声も出ています。 ・子どもたちにとって、学校だけでなく身近な地域でさまざまな体験活動を行うことや、高齢者なども参加しやすいよう工夫しながら世代間で交流することが、豊かな人間性を養うために必要です。 ・子ども、高齢者、障がい者といった、それぞれの分野を超えた支援が求められるケースに対し、分野を横断した包括的な相談支援体制の構築のための検討を行い、地域福祉の推進を図ることが必要です。 <p><主な事業・取組></p> <p>①地域コミュニティ子育て応援事業 地域のボランティアを主体とし、就学前児童とその保護者が気軽に集まれる場の提供を行う団体に活動費の助成を行います。地域の人に見守られながら参加者同士で交流を深めたり、情報交換を行うなど、住み慣れた地域で安心して子育てができる環境づくりを行います。</p> <p>②ご近所の底力再生事業 自治会が行う子どもの見守り活動や伝統行事の継承活動などに対し財政上の支援をし、地域における青少年の健全育成や世代間交流の促進を図ります。</p> <p>③地域多世代ふれあい交流事業 子どもと高齢者が、家庭的な雰囲気の中で一緒に食事し、遊び、会話するなどの日常的な交流を継続的に行える機会を設けることにより、高齢者の生きがいづくりと社会参加を促します。</p>	<p>新規事業の地域多世代ふれあい交流事業に関連し、世代間の交流に関する課題を追加しました。</p> <p>これまで以上に分野横断的な相談支援体制を構築するための課題を追加しました。</p> <p>平成 29(2017)年度からの新規事業を追加しました。</p>

<基本施策と事業・取組>

分野	4 社会全体での支援		
目標	9 子どもと子育てを支える社会づくり	基本施策	②地域住民との連携による子どもや家庭への支援推進
現行計画	次期計画案		見直し理由等
<p>③民生委員児童委員、主任児童委員に対する支援(大分市民生委員児童委員庁内サポート会議)</p> <p>地域福祉の最前線に活動する民生委員児童委員の活動を庁内関係課で連携し、制度横断的な支援を行います。また、地域の青少年健全育成諸団体との連携の強化を図り、青少年の健全な育成に努めます。</p> <p>④おおいたふれあい学びの広場推進事業</p> <p>地域住民や団体・グループ等が自己の学習成果や経験を活かして、学校を中心とした身近な場所で子どもの体験活動を中核とした事業に取り組みます。</p> <p>⑤あいさつ OITA+1運動</p> <p>あいさつに一言をプラスして会話へと広げ、人と人との絆を深めることで、地域ぐるみの子育てに取り組む機運を醸成します。</p> <p>⑥子ども会支援事業</p> <p>子ども会のリーダーを育成する「子ども会ジュニアリーダー研修会」、地域の子ども会指導者としての実践力を養う「子ども会指導者研修会」を 13 地区公民館で行い、子ども会の活動を支援します。</p>	<p>④民生委員・児童委員、主任児童委員に対する支援(大分市民生委員児童委員庁内サポート体制)</p> <p>地域福祉の担い手である民生委員・児童委員の活動を庁内関係課で連携し、横断的な支援を行います。</p> <p>⑤分野を横断した包括的な相談支援体制の構築</p> <p>子どもや子育てをはじめ、あらゆる福祉サービスやその関係機関との連携体制を強化するため、総合相談窓口を設置するとともに、それを担う専門職を養成します。</p> <p>⑥おおいたふれあい学びの広場推進事業</p> <p>放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用して、子どもに様々な体験活動等の機会を定期的かつ継続的に提供する地域団体等の活動を支援することで、地域の教育力の向上を図ります。</p> <p>⑦ボランティア養成講座の実施</p> <p>地域で活動するボランティアのスキルアップや、これからボランティアを始める人材の育成を目的とした教室・講座を地区公民館等で開設し、住民のボランティア意識の高揚や地域の教育力の向上を図ります。</p> <p>⑧社会教育関係団体との連携強化</p> <p>・社会教育関係団体との連携を強化するとともに、青少年の健全育成を図るため、「大分市青少年『夢ふれあい』交流集会・大分市社会教育振興大会」の充実を図ります。</p> <p>・子どもの自主・自立活動を支援するため、子ども会のリーダーや子ども会活動を支える育成指導者に対する研修の充実を努めます。</p> <p>・青少年健全育成協議会等と連携し、子どもへの積極的な声かけや見守り、ふれあい活動を通じて地域の連帯感を育みます。</p>	<p>⑤(追加)社会福祉法の改正により、高齢、障がい、子ども、その他の福祉に関して共通して取り組むべき事項を定めることとされており、第4期大分市地域福祉計画の中で「包括的な相談支援体制の構築」を共通事項として定めたことから追加しました。</p> <p>⑥余裕教室の活用や事業の目的等の記述を追加しました。</p> <p>⑦「あいさつOITA+1運動」広め隊は市内全域で登録数が目標に達し、活動が定着しています。今後は地区公民館等と連携し、地域活動を支える人材の育成や活用に努めることとしています。</p> <p>⑧大分市子ども会育成連絡協議会や大分市青少年健全育成連絡協議会等を含めた社会教育関係団体との連携を強化し、学校、家庭、地域が連携して、地域全体で子どもたちの健全育成を図ります。</p>	

(仮称)第2期すくすく大分っ子プラン(案)

<基本施策と事業・取組>

分野	4 社会全体での支援		
目標	9 子どもと子育てを支える社会づくり	基本施策	②地域住民との連携による子どもや家庭への支援推進
現行計画		次期計画案	
見直し理由等			
〈個別事業の指標〉		〈個別事業の指標〉	
事業名	指標	H25実績	H31目標
①地域コミュニティ子育て応援事業	延べ参加者人数	24,760人	26,000人
②ご近所の底力再生事業	「ご近所の底力再生事業」申請自治会の割合	85.7%	88%
③民生委員児童委員等に対する支援	民生委員児童委員からの通告・相談件数	32件	増加
④おおいたふれあい学びの広場推進事業	地域主体型実施校区数	22校区	30校区
⑤あいさつ OITA+1運動	参加ボランティア団体数	376団体	550団体
⑥子ども会支援事業	研修会の実施回数	26回	30回
事業名	指標	H30(2018)実績	R6(2024)目標
①地域コミュニティ子育て応援事業	延べ参加者人数	22,056人	28,800人
②ご近所の底力再生事業	「ご近所の底力再生事業」申請自治会の割合	83.4%	88%
(削除)			
③地域多世代ふれあい交流事業	実施回数	2団体で計51回実施	5団体で月2回ずつ(12か月)計120回開催
⑥おおいたふれあい学びの広場推進事業	地域主体型の実施回数	729回	800回
⑦ボランティア養成講座の実施	地区公民館におけるボランティア養成講座の実施回数	73回	85回
⑧社会教育関係団体との連携強化	大分市青少年「夢ふれあい」交流集会・大分市社会教育振興大会の参加者数(累計)	—	2,400人
〈成果指標〉		〈成果指標〉	
指標	H25実績	H31目標	
地域で子育てが支えられていると感じる保護者の割合	就学前:55.1% 小学生:62.9%	増加	
指標	H30(2018)実績	R6(2024)目標	
子育てに関するアンケートにおいて、地域で子育てが支えられていると感じると答えた保護者の割合	就学前:59.6% 小学生:62.1%	増加	
※小学生には義務教育学校の前期課程(第1学年から第6学年)を含みます。			

③民生委員・児童委員に対する支援体制は、民生委員・児童委員への横断的な支援を庁内連携のもとで行うことを目的としています。具体的には「関係課(支援担当者間)での情報共有」、「民生委員・児童委員からの相談に対するワンストップ化(いわゆるたらい回しの防止)」としているため、相談件数を指標とすることは、主旨とはそぐわないため削除し、新たに地域多世代ふれあい交流事業の実施回数を指標に加えました。

⑦事業内容の変更に伴い、養成講座の実施回数を指標に設定しました。

⑧事業内容の変更に伴い、市主催の行事への参加者数に設定しました。

(仮称)第2期すくすく大分っ子プラン(案)

<基本施策と事業・取組>

分野	4 社会全体での支援		
目標	9 子どもと子育てを支える社会づくり	基本施策	③子どもが安心して暮らせる地域づくりの推進
	現 行 計 画	次期計画案	
	<p>〈現状〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、全国的に登下校中の児童生徒が痛ましい事件・事故に巻き込まれる事案が相次いで発生しています。本市においては交通事故・不審者事案ともに件数としては減少の傾向にあるものの、なお、予断を許さない状況にあります。 ・「大分市子育てに関するアンケート調査」の結果によると、大分市に充実を図ってほしい子育て支援として、公園などの屋外施設の整備に対しては就学前児童の保護者で40.9%、小学生の保護者で38.4%が希望しており、要望が高くなっています。 ・就学前児童の保護者からは、授乳スペースの確保や歩道等段差解消の要望が36.0%、小学生の保護者からは地域での防犯活動の促進への要望が18.8%と高くなっています。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の事故や、不審者事案の発生から、特に登下校時における子どもの安全を確保する必要があります。加えて、地域において子どもや親子が安心して遊ぶ場の確保も求められています。 	<p>〈現状〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、全国的に登下校中の子どもが痛ましい事件・事故に巻き込まれる事案が相次いで発生しており、大分市においても、交通事故・不審者事案ともに増加の傾向にあります。 ・「大分市子育てに関するアンケート調査」の結果によると、大分市に充実を図ってほしい子育て支援として、就学前児童の保護者からは、「公園などの屋外の施設の整備」(30.9%)や、「授乳スペースの確保や歩道等段差の解消」(26.9%)に対する要望が高くなっています。 小学生の保護者からは、「小学生以上を対象に遊びを通じた活動を行う施設の充実」(19.0%)や、「地域の防犯活動の促進」(13.6%)に対する要望が高くなっています。 <p>(削除)</p> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の事故や、不審者事案の発生から、特に登下校時における子どもの安全を確保する必要があります。加えて、地域において子どもや親子が安心して遊べる場所の確保も求められています。 	
		見直し理由等	
		<p>アンケート結果を踏まえ修正しました。</p> <p>上記に統合しました。</p>	

<基本施策と事業・取組>

分野	4 社会全体での支援		
目標	9 子どもと子育てを支える社会づくり	基本施策	③子どもが安心して暮らせる地域づくりの推進
	現 行 計 画	次期計画案	見直し理由等
〈主な事業・取組〉	<p>①市民の自主的な安全活動の推進 「生活安全推進協議会」を中心として、市報への掲載、パンフレットの全戸回覧、自主防犯パトロールの実施などにより安全意識の高揚を図ります。また、自治会等による防犯灯の設置や維持にかかる経費を補助することで、地域における防犯環境を整備します。</p> <p>②こどもの安全見守り活動の推進 「こどもの安全見守りボランティア活動支援事業」として、保護者や地域の協力を得ながら子どもの登下校時の見守り体制の整備・充実を図ります。登下校時に子どもの緊急避難場所となる「こども連絡所」の維持・拡充や「すこやか大分っ子サポートパトロール」の推進を支援するなど、地域や関係機関との連携を図る中で、子どもの安全体制の構築を図ります。</p> <p>③みんなが利用できる公園整備 地域のワークショップなどを通じてそのニーズを把握しながら、公園が地域における憩いの場となるような施設・景観づくりに努めます。また、多目的トイレの設置により誰もが使いやすい公園の整備を進めます。</p> <p>④安心・安全な通学路の確保 小中学校に対し通学路の安全点検を行うよう指導し、必要に応じて通学路の見直しを行うとともに、危険箇所については、大分市交通問題協議会において関係機関が連携して改善に取り組み、登下校時における児童生徒の安全対策を図ります。</p>	<p>①安全・安心を実感できるまちづくりの推進 「生活安全推進協議会」を中心として、市報や市ホームページへの掲載や、防犯協会等と連携した啓発パンフレット等の配布、自主防犯パトロール*や子ども見守りパトロール等を所管する関係機関と連携した安全意識の高揚を図ります。また、自治会等による防犯灯の設置や維持に係る経費を補助することで、地域における防犯環境を整備します。</p> <p>②子どもの安全見守り活動の推進 「こどもの安全見守りボランティア活動支援事業」として、保護者や地域の協力を得ながら子どもの登下校時の見守り体制の整備・充実を図ります。登下校時に子どもの緊急避難場所となる「こども連絡所*」の維持・拡充や「すこやか大分っ子サポートパトロール*」の推進を支援するなど、地域や関係機関との連携を図る中で、子どもの安全体制の構築を図ります。</p> <p>③みんなが利用できる公園整備 地域のワークショップ*などを通じてそのニーズを把握しながら、公園が地域における憩いの場となるような施設・景観づくりに努めます。また、多目的トイレの設置により誰もが使いやすい公園の整備を進めます。</p> <p>④安全・安全な通学路の確保 小中学校及び義務教育学校に対し、通学路の安全点検を行うよう指導し、危険箇所については、大分市交通問題協議会*において関係機関が連携して改善に取り組みとともに、必要に応じて通学路を見直すなど、登下校時における児童生徒の安全確保を図ります。</p>	<p>①事業目的や内容を踏まえ事業名に変更しました。 ・広報手段として、「ホームページ」を追記 ・パンフレット等の啓発グッズは、警察や防犯協会と連携して実施しているため追記 ・自主防犯パトロールに限らず、子ども見守りパトロール等を所管する関係機関と連携して安全意識の高揚を図っているため追記 自主防犯パトロール…子ども達の登下校時の見守り活動等、安全・安心な市民生活のため地域住民等が自主的に取り組む防犯活動です。揃いのベストやたすき等を着用し、その活動を広く周囲にアピールすることで、防犯抑止に大きな力を発揮しています。 すこやか大分っ子サポートパトロール…各校区・地区の青少年健全育成協議会(青少協)が主体となり、青少年の非行防止及び安全確保のために行っている巡回・見守り活動です。自治委員・民生児童委員・補導員・老人会・学校教職員・PTA 保護者・警察等、地域の実情に応じて関係者が協力して実施しています。 こども連絡所…子どもたちが声かけ・つきまといなどの犯罪被害の危険や不安を感じたとき、一般住宅、コンビニエンスストア、ガソリンスタンドなど緊急的に避難する場所をいいます。 ワークショップ…もともとの意味は、「工房」「作業場」です。教師から生徒への一方通行的な知や技術の伝達でなく、参加者が主体となって積極的に参加し、自由に意見を出し合いながら、意見や提案をまとめ上げていく場のことをいいます。 大分市交通問題協議会…学童・園児の通学路等における交通事故防止はもとより、広く交通安全対策の徹底を図るため、国・県・市・警察署等のメンバーで構成された協議会を昭和61年に設置しました。</p>

<基本施策と事業・取組>

分野	4 社会全体での支援																																															
目標	9 子どもと子育てを支える社会づくり	基本施策	③子どもが安心して暮らせる地域づくりの推進																																													
現 行 計 画				次期計画案				見直し理由等																																								
<個別事業の指標> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>指標</th> <th>H25 実績</th> <th>H31 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①市民の自主的な安全活動の推進</td> <td>防犯パトロール活動団体数</td> <td>560 団体</td> <td>600 団体</td> </tr> <tr> <td>②こどもの安全見守りボランティア活動の支援事業</td> <td>ボランティア登録者数</td> <td>30,630 人</td> <td>32,000 人</td> </tr> <tr> <td>③みんなが利用できる公園整備</td> <td>多目的トイレ設置数(累積)</td> <td>110 カ所</td> <td>148 カ所</td> </tr> <tr> <td>④安心・安全な通学路の確保</td> <td>市道における歩道等の整備延長</td> <td>累積 15.33 km</td> <td>累積 23.13 km</td> </tr> </tbody> </table>				事業名	指標	H25 実績	H31 目標	①市民の自主的な安全活動の推進	防犯パトロール活動団体数	560 団体	600 団体	②こどもの安全見守りボランティア活動の支援事業	ボランティア登録者数	30,630 人	32,000 人	③みんなが利用できる公園整備	多目的トイレ設置数(累積)	110 カ所	148 カ所	④安心・安全な通学路の確保	市道における歩道等の整備延長	累積 15.33 km	累積 23.13 km	<個別事業の指標> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>指標</th> <th>H30(2018) 実績</th> <th>R6(2024) 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①安全・安心を実感できるまちづくりの推進</td> <td>子どもへの声かけ事案件数</td> <td>123 件 ※H30(2018)年 15 歳以下への声かけ事案件数</td> <td>減少</td> </tr> <tr> <td>②子どもの安全見守り活動の推進</td> <td>子どもの安全見守りボランティアの登録者数</td> <td>31,060 人</td> <td>32,000 人</td> </tr> <tr> <td>③みんなが利用できる公園整備</td> <td>多目的トイレ設置数(累積)</td> <td>141 カ所</td> <td>165 カ所</td> </tr> <tr> <td>④安全・安心な通学路の確保</td> <td>市道における歩道の整備延長</td> <td>10.06 km</td> <td>5.00 km</td> </tr> </tbody> </table>				事業名	指標	H30(2018) 実績	R6(2024) 目標	①安全・安心を実感できるまちづくりの推進	子どもへの声かけ事案件数	123 件 ※H30(2018)年 15 歳以下への声かけ事案件数	減少	②子どもの安全見守り活動の推進	子どもの安全見守りボランティアの登録者数	31,060 人	32,000 人	③みんなが利用できる公園整備	多目的トイレ設置数(累積)	141 カ所	165 カ所	④安全・安心な通学路の確保	市道における歩道の整備延長	10.06 km	5.00 km	①防犯の意識の高揚に努め、犯罪被害にあわない安全・安心の実感できるまちづくりの推進として「子どもへの声かけ事案件数」の減少に見直しました(統計値は暦年)
事業名	指標	H25 実績	H31 目標																																													
①市民の自主的な安全活動の推進	防犯パトロール活動団体数	560 団体	600 団体																																													
②こどもの安全見守りボランティア活動の支援事業	ボランティア登録者数	30,630 人	32,000 人																																													
③みんなが利用できる公園整備	多目的トイレ設置数(累積)	110 カ所	148 カ所																																													
④安心・安全な通学路の確保	市道における歩道等の整備延長	累積 15.33 km	累積 23.13 km																																													
事業名	指標	H30(2018) 実績	R6(2024) 目標																																													
①安全・安心を実感できるまちづくりの推進	子どもへの声かけ事案件数	123 件 ※H30(2018)年 15 歳以下への声かけ事案件数	減少																																													
②子どもの安全見守り活動の推進	子どもの安全見守りボランティアの登録者数	31,060 人	32,000 人																																													
③みんなが利用できる公園整備	多目的トイレ設置数(累積)	141 カ所	165 カ所																																													
④安全・安心な通学路の確保	市道における歩道の整備延長	10.06 km	5.00 km																																													
<成果指標> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H25 実績</th> <th>H31 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登下校時の事故件数</td> <td>26 件</td> <td>減少</td> </tr> </tbody> </table>				指標	H25 実績	H31 目標	登下校時の事故件数	26 件	減少	<成果指標> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H30(2018) 実績</th> <th>R6(2024) 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登下校時の事故件数</td> <td>50 件</td> <td>減少</td> </tr> </tbody> </table>			指標	H30(2018) 実績	R6(2024) 目標	登下校時の事故件数	50 件	減少																														
指標	H25 実績	H31 目標																																														
登下校時の事故件数	26 件	減少																																														
指標	H30(2018) 実績	R6(2024) 目標																																														
登下校時の事故件数	50 件	減少																																														

<基本施策と事業・取組>

分野	4 社会全体での支援																										
目標	9 子どもと子育てを支える社会づくり	基本施策	④ 経済的支援																								
	現行計画	次期計画案	見直し理由等																								
〈現状〉	<p>・「大分市子育てに関するアンケート調査」の結果によると、子育てにかかる経済的負担が大きいと感じる人が就学前児童の保護者で 52.9%、小学生の保護者で 65.7%となっており、子育て世代への経済的支援が求められています。</p> <table border="1"> <caption>子育てにかかる経済的負担が大きいと感じますか</caption> <thead> <tr> <th>感じる</th> <th>感じない</th> <th>どちらともいえない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就学前: 52.9</td> <td>15.5</td> <td>30.9</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>小学生: 65.7</td> <td>9.6</td> <td>23.5</td> <td>1.2</td> </tr> </tbody> </table>	感じる	感じない	どちらともいえない	無回答	就学前: 52.9	15.5	30.9	0.8	小学生: 65.7	9.6	23.5	1.2	<p>・「大分市子育てに関するアンケート調査」の結果によると、子育てに係る経済的負担が大きいと感じる人が就学前児童の保護者で 50.6%、小学生の保護者で 65.9%となっており、子育て世代への経済的支援が求められています。中でも、子どもの就学に係る費用や医療費の軽減についての要望が高くなっています。</p> <table border="1"> <caption>子育てにかかる経済的負担が大きいと感じますか</caption> <thead> <tr> <th>感じる</th> <th>感じない</th> <th>どちらともいえない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就学前: 50.6</td> <td>16.4</td> <td>31</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>小学生: 65.9</td> <td>9.3</td> <td>24</td> <td>0.9</td> </tr> </tbody> </table>	感じる	感じない	どちらともいえない	無回答	就学前: 50.6	16.4	31	1.2	小学生: 65.9	9.3	24	0.9	
感じる	感じない	どちらともいえない	無回答																								
就学前: 52.9	15.5	30.9	0.8																								
小学生: 65.7	9.6	23.5	1.2																								
感じる	感じない	どちらともいえない	無回答																								
就学前: 50.6	16.4	31	1.2																								
小学生: 65.9	9.3	24	0.9																								
〈課題〉	<p>・少子化対策は喫緊の課題であり、子育てにかかる経済的負担の軽減を継続して行う必要があります。</p>	<p>・少子化対策は喫緊の課題であり、子育てに係る経済的負担の軽減を継続して行う必要があります。</p>																									
〈主な事業・取組〉	<p>①児童手当 中学校修了までの児童を養育する人を対象に年3回、手当を支給します。</p> <p>②子ども医療費助成 市内在住の中学生までの子どもを対象に保護者が支払う医療費の一部もしくは全部を助成します。</p> <p>③就学援助事業 経済的理由によって小学校または中学校への就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、学用品費・給食費・医療費等の助成を行います。</p>	<p>①児童手当 中学校修了までの児童を養育する人を対象に年3回、手当を支給します。</p> <p>②子ども医療費助成 市内在住の中学生までの子どもを対象に保護者が支払う医療費を助成します。</p> <p>③就学援助事業 経済的理由によって小中学校及び義務教育学校への就学が困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費・給食費・医療費等の助成を行います。</p>	<p>②平成29(2017)年10月に制度改正(小・中学生の入院費に係る一部自己負担金を全額助成)したため。</p>																								

<基本施策と事業・取組>

分野	4 社会全体での支援																										
目標	9 子どもと子育てを支える社会づくり	基本施策	④経済的支援																								
現 行 計 画		次期計画案																									
<p>④第3子以降3歳未満児の保育料の軽減事業</p> <p>認可保育所等に入所している第3子以降の3歳未満児の保育料について、兄弟入所の軽減を受けていない場合に半額を減免(一部全額減免)します。</p>		<p>④保育所等実費負担補足給付事業</p> <p>生活保護世帯等を対象に、保育所等を利用する場合に支払うべき日用品、文具等の購入に要する費用等の一部を助成するとともに、新制度に移行していない幼稚園を利用する低所得世帯等を対象に、副食費の負担軽減を行います。</p> <p>⑤第2子以降3歳未満児の保育料の軽減事業</p> <p>認可保育所等に入所している第2子以降の3歳未満児の保育料について、第2子以降は全額免除します。</p> <p>⑥幼児教育・保育の無償化</p> <p>幼稚園、保育所、認定こども園、認可外保育施設等を利用している3歳から5歳までのすべての子どもと、住民税非課税世帯の0歳から2歳までの子どもを対象として、保育所等の利用料を無償化(上限あり)します。</p>																									
見直し理由等		<p>平成29年度より事業開始したため事業を追加。令和元(2019)年10月からの幼児・教育保育の無償化に伴い事業内容が一部変更されています。</p> <p>令和元(2019)年10月より開始する幼児教育・保育の無償化と併せて、大分県独自の事業として開始します。</p> <p>令和元(2019)年10月から幼児教育・保育の無償化を開始するため。</p>																									
<p><個別事業の指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>指標</th> <th>H25実績</th> <th>H31目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②子ども医療費助成</td> <td>未就学児申請率</td> <td>98%</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>④第3子以降3歳未満児の保育料の軽減事業</td> <td>減免者数</td> <td>226人</td> <td>増加</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	指標	H25実績	H31目標	②子ども医療費助成	未就学児申請率	98%	増加	④第3子以降3歳未満児の保育料の軽減事業	減免者数	226人	増加	<p><個別事業の指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>指標</th> <th>H30(2018)実績</th> <th>R6(2024)目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(削除)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤第2子以降3歳未満児の保育料の軽減事業</td> <td>減免者数</td> <td>1,041人</td> <td>増加</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	指標	H30(2018)実績	R6(2024)目標	(削除)				⑤第2子以降3歳未満児の保育料の軽減事業	減免者数	1,041人	増加
事業名	指標	H25実績	H31目標																								
②子ども医療費助成	未就学児申請率	98%	増加																								
④第3子以降3歳未満児の保育料の軽減事業	減免者数	226人	増加																								
事業名	指標	H30(2018)実績	R6(2024)目標																								
(削除)																											
⑤第2子以降3歳未満児の保育料の軽減事業	減免者数	1,041人	増加																								
<p><成果指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H25実績</th> <th>H31目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育てにかかる経済的負担が大きいと感じる保護者の割合</td> <td>就学前:52.9% 小学生:65.7%</td> <td>減少</td> </tr> </tbody> </table>		指標	H25実績	H31目標	子育てにかかる経済的負担が大きいと感じる保護者の割合	就学前:52.9% 小学生:65.7%	減少	<p><成果指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H30(2018)実績</th> <th>R6(2024)目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育てに関するアンケートにおいて、子育てに係る経済的負担が大きいと感じると答えた保護者の割合</td> <td>就学前:50.6% 小学生:65.9%</td> <td>減少</td> </tr> </tbody> </table> <p>※小学生には義務教育学校の前期課程(第1学年から第6学年)を含みます。</p>		指標	H30(2018)実績	R6(2024)目標	子育てに関するアンケートにおいて、子育てに係る経済的負担が大きいと感じると答えた保護者の割合	就学前:50.6% 小学生:65.9%	減少												
指標	H25実績	H31目標																									
子育てにかかる経済的負担が大きいと感じる保護者の割合	就学前:52.9% 小学生:65.7%	減少																									
指標	H30(2018)実績	R6(2024)目標																									
子育てに関するアンケートにおいて、子育てに係る経済的負担が大きいと感じると答えた保護者の割合	就学前:50.6% 小学生:65.9%	減少																									

<基本施策と事業・取組>

分野	4 社会全体での支援																						
目標	10 仕事と子育ての両立支援	基本施策	①ワーク・ライフ・バランスに向けた気運の醸成																				
	現 行 計 画	次期計画案	見直し理由等																				
〈現状〉	<p>・家庭や地域・職場などあらゆる場面で男女が共に活躍できる社会の実現が求められていますが、女性の家事や育児の負担は大きく仕事と子育ての選択をせざるを得ない状況が多くあります。全国的に女性の就労が進む中、出産後も女性が働き続けるためには保育の提供体制を整えとともに、育児休業や短時間勤務などの子育てを支援する職場環境を整備することも必要です。</p> <p>・「大分市子育てに関するアンケート調査」の結果によると「仕事と家庭が両立できている」と感じない人が 24.9%います。(「あまり感じない」「感じない」の合計)。このアンケートの結果から、育児休業を取得した割合は、母親が約 30%、父親が 2%、父親が取得しない理由としては、仕事が忙しいことや、職場の雰囲気あげています。</p>	<p>〈現状〉</p> <p>・家庭や地域・職場などあらゆる場面で男女がともに活躍できる社会の実現が求められていますが、依然として家事・育児の負担が女性に偏っている現状や、男性が希望しても実際には育児休業の取得等が進まない実態があります。全国的に女性の就労が進む中、出産後も女性が働き続けるためには、保育の提供体制を整えとともに、育児休業や短時間勤務など、子育てを支援する職場環境を整備することが求められています。</p> <p>・「大分市子育てに関するアンケート調査」の結果によると「仕事と家庭が両立できている」と感じない人の割合が 30.6%います。また、育児休業を取得した割合は、母親が 42%、父親が 3%となっており、父親が取得しなかった理由としては、仕事が忙しいことや、職場の雰囲気あげています。</p>																					
	<p>仕事と家庭が両立できていると感じますか (%)</p> <table border="1"> <tr><td>感じる</td><td>19.7</td></tr> <tr><td>どちらかといえば感じる</td><td>39.1</td></tr> <tr><td>あまり感じない</td><td>19.3</td></tr> <tr><td>感じない</td><td>5.6</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>16.3</td></tr> </table> <p>※アンケート対象は就学前児童の父親・母親並びに小学生の父親・母親</p>	感じる	19.7	どちらかといえば感じる	39.1	あまり感じない	19.3	感じない	5.6	無回答	16.3	<p>仕事と家庭が両立できていると感じますか (%)</p> <table border="1"> <tr><td>感じる</td><td>21.1</td></tr> <tr><td>どちらかといえば感じる</td><td>31.8</td></tr> <tr><td>あまり感じない</td><td>23.8</td></tr> <tr><td>感じない</td><td>6.8</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>16.5</td></tr> </table> <p>■※アンケート対象は就学前児童の父親・母親並びに小学生の父親・母親</p>	感じる	21.1	どちらかといえば感じる	31.8	あまり感じない	23.8	感じない	6.8	無回答	16.5	
感じる	19.7																						
どちらかといえば感じる	39.1																						
あまり感じない	19.3																						
感じない	5.6																						
無回答	16.3																						
感じる	21.1																						
どちらかといえば感じる	31.8																						
あまり感じない	23.8																						
感じない	6.8																						
無回答	16.5																						

<基本施策と事業・取組>

分野	4 社会全体での支援			
目標	10 仕事と子育ての両立支援	基本施策	①ワーク・ライフ・バランスに向けた気運の醸成	
現 行 計 画		次期計画案		見直し理由等
<p>〈課題〉 ・男女が共に家事・育児を負担し、職業を通じて豊かな社会活動を行うためには、事業主や市民一人ひとりが「ワークライフバランス」のあり方について考え、取組を進める必要があります。</p> <p>〈主な事業・取組〉 ①子育て支援中小企業表彰制度 ※m 大分市に本店または主たる事業所のある従業員 300 人以下の中小企業を対象に、子育て支援優良企業を表彰し、広く市民に広報することにより、子育て環境の充実や啓発を行うとともに子育て支援意識の醸成を図ります。</p> <p>②市報や市ホームページを活用した啓発 ※m 国や全国的な取り組みを踏まえ、市報や情報誌、市のホームページに市及び関係機関の取り組みを掲載し、市民に対する啓発を行います。また、国の動きや全国的な取り組みを把握しながら、新しい情報の発信に努め、ワークライフバランスに関する啓発を進めます。</p> <p>③事業所・市民向けセミナーの開催 ※m 仕事と家庭の両立支援に関するセミナーを開催し、事業所や市民への意識の醸成を図ります。また、男女共生講座の中でワークライフバランスをテーマとして取り上げることで参加者の意識の向上を図ります。</p>		<p>〈課題〉 ・男女がともに家事・育児を負担し、職業を通じて豊かな社会活動を行うためには、事業主や市民一人ひとりが「ワーク・ライフ・バランス」の在り方について考え、取組を進める必要があります。</p> <p>〈主な事業・取組〉 ①子育て支援中小企業表彰制度 (※m) 大分市に本店または主たる事業所のある従業員 300 人以下の中小企業を対象に、子育て支援に積極的に取り組む子育て支援優良企業として表彰し、広く市民に広報することにより、中小企業の子育て環境の充実を図るとともに社会全体で子育てを支援する気運の醸成を図ります。</p> <p>②市報や市ホームページ等を活用した啓発 (※m) 市報や情報誌、市ホームページに大分市及び関係機関の取組を掲載し、事業所や市民に対する啓発を行います。また、国の動きや全国的な取組の把握に努め、先進的な取組については情報発信することでワーク・ライフ・バランスに関する啓発を進めます。</p> <p>③事業所・市民向けセミナーの開催(※m) 仕事と家庭の両立支援に関するセミナーを開催し、事業所や市民への意識の醸成を図ります。</p>		<p>制度の趣旨等を詳しく記述しました。</p> <p>情報誌も活用することから、「等」を加筆しました。</p>

(仮称)第2期すくすく大分っ子プラン(案)

<基本施策と事業・取組>

分野	4 社会全体での支援																																																											
目標	10 仕事と子育ての両立支援	基本施策	①ワーク・ライフ・バランスに向けた気運の醸成																																																									
現 行 計 画		次期計画案		見直し理由等																																																								
<p><個別事業の指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>指標</th> <th>H25 実績</th> <th>H31 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①子育て支援中小企業表彰制度</td> <td>延べ表彰企業数</td> <td>6社</td> <td>11社</td> </tr> <tr> <td>②市報や市のホームページを活用した啓発</td> <td>ホームページでのワークライフバランス情報更新回数</td> <td>6回</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>③事業所・市民向けセミナーの開催</td> <td>ワークライフバランス県民セミナー参加者数</td> <td>186人</td> <td>200人</td> </tr> </tbody> </table> <p><成果指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th colspan="2">H25 実績</th> <th>H31 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">仕事と家庭が両立できていると感じる保護者の割合</td> <td rowspan="2">就学前</td> <td>母: 61.0%</td> <td rowspan="4">増加</td> </tr> <tr> <td>父: 52.2%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小学生</td> <td>母: 69.6%</td> </tr> <tr> <td>父: 57.0%</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	指標	H25 実績	H31 目標	①子育て支援中小企業表彰制度	延べ表彰企業数	6社	11社	②市報や市のホームページを活用した啓発	ホームページでのワークライフバランス情報更新回数	6回	11回	③事業所・市民向けセミナーの開催	ワークライフバランス県民セミナー参加者数	186人	200人	指標	H25 実績		H31 目標	仕事と家庭が両立できていると感じる保護者の割合	就学前	母: 61.0%	増加	父: 52.2%	小学生	母: 69.6%	父: 57.0%	<p><個別事業の指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>指標</th> <th>H30(2018) 実績</th> <th>R6(2024) 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①子育て支援中小企業表彰制度</td> <td>計画期間内の表彰企業数</td> <td>12社</td> <td>20社</td> </tr> <tr> <td>②市報や市ホームページ等を活用した啓発</td> <td>ワーク・ライフ・バランスに関する情報の掲載回数</td> <td>11回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>(削除)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><成果指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th colspan="2">H30(2018) 実績</th> <th>R6(2024) 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">子育てに関するアンケートにおいて、仕事と家庭が両立できていると感じると答えた保護者の割合</td> <td rowspan="2">就学前</td> <td>母: 56.1%</td> <td rowspan="4">増加</td> </tr> <tr> <td>父: 53.7%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小学生</td> <td>母: 67.9%</td> </tr> <tr> <td>父: 56.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※小学生には義務教育学校の前期課程(第1学年から第6学年)を含みます。</p>		事業名	指標	H30(2018) 実績	R6(2024) 目標	①子育て支援中小企業表彰制度	計画期間内の表彰企業数	12社	20社	②市報や市ホームページ等を活用した啓発	ワーク・ライフ・バランスに関する情報の掲載回数	11回	12回	(削除)				指標	H30(2018) 実績		R6(2024) 目標	子育てに関するアンケートにおいて、仕事と家庭が両立できていると感じると答えた保護者の割合	就学前	母: 56.1%	増加	父: 53.7%	小学生	母: 67.9%	父: 56.6%	<p>③大分県と共催していた「ワーク・ライフ・バランス県民セミナー」は事業廃止により削除しました。</p>
事業名	指標	H25 実績	H31 目標																																																									
①子育て支援中小企業表彰制度	延べ表彰企業数	6社	11社																																																									
②市報や市のホームページを活用した啓発	ホームページでのワークライフバランス情報更新回数	6回	11回																																																									
③事業所・市民向けセミナーの開催	ワークライフバランス県民セミナー参加者数	186人	200人																																																									
指標	H25 実績		H31 目標																																																									
仕事と家庭が両立できていると感じる保護者の割合	就学前	母: 61.0%	増加																																																									
		父: 52.2%																																																										
	小学生	母: 69.6%																																																										
		父: 57.0%																																																										
事業名	指標	H30(2018) 実績	R6(2024) 目標																																																									
①子育て支援中小企業表彰制度	計画期間内の表彰企業数	12社	20社																																																									
②市報や市ホームページ等を活用した啓発	ワーク・ライフ・バランスに関する情報の掲載回数	11回	12回																																																									
(削除)																																																												
指標	H30(2018) 実績		R6(2024) 目標																																																									
子育てに関するアンケートにおいて、仕事と家庭が両立できていると感じると答えた保護者の割合	就学前	母: 56.1%	増加																																																									
		父: 53.7%																																																										
	小学生	母: 67.9%																																																										
		父: 56.6%																																																										

<基本施策と事業・取組>

分野	4 社会全体での支援																																																																																																		
目標	10 仕事と子育ての両立支援	基本施策	②男性の育児参加の促進																																																																																																
	現行計画	次期計画案	見直し理由等																																																																																																
〈現状〉	<p>・「大分市子育てに関するアンケート調査」の結果によると、父親の帰宅時間が19時以降である割合が7割を超えており、育児に参加する時間が少ないという状況です。</p> <table border="1"> <caption>父親の帰宅時間 (%)</caption> <tr><th>帰宅時間</th><th>割合 (%)</th></tr> <tr><td>～12時</td><td>4.1</td></tr> <tr><td>13時</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>14時</td><td>0.1</td></tr> <tr><td>15時</td><td>0.3</td></tr> <tr><td>16時</td><td>0.8</td></tr> <tr><td>17時</td><td>2.8</td></tr> <tr><td>18時</td><td>9.4</td></tr> <tr><td>19時～</td><td>75.3</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>7.0</td></tr> </table> <p>・父親・母親の子育てに関する役割分担に関して、「母親も父親も同じように行く」ことを理想とする保護者は37.7%であるものの、「現実に母親も父親も同じように行く」と回答した人は10.7%でした。また、子育て世代の男性の45.6%が1日10時間以上働いていることが分かりました。</p> <table border="1"> <caption>父親・母親の子育てに関する役割分担に関して(理想) (%)</caption> <tr><th>役割分担</th><th>割合 (%)</th></tr> <tr><td>もっぱら母親が行う</td><td>3.1</td></tr> <tr><td>主に母親が行うが、父親も手伝う</td><td>46.2</td></tr> <tr><td>母親も父親も同じように行く</td><td>37.7</td></tr> <tr><td>主に父親が行うが、母親も手伝う</td><td>0.1</td></tr> <tr><td>もっぱら父親が行う</td><td>0</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>12.6</td></tr> </table> <table border="1"> <caption>父親・母親の子育てに関する役割分担に関して(現実) (%)</caption> <tr><th>役割分担</th><th>割合 (%)</th></tr> <tr><td>もっぱら母親が行う</td><td>23.1</td></tr> <tr><td>主に母親が行うが、父親も手伝う</td><td>52.8</td></tr> <tr><td>母親も父親も同じように行く</td><td>10.7</td></tr> <tr><td>主に父親が行うが、母親も手伝う</td><td>0.3</td></tr> <tr><td>もっぱら父親が行う</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>12.8</td></tr> </table>	帰宅時間	割合 (%)	～12時	4.1	13時	0.2	14時	0.1	15時	0.3	16時	0.8	17時	2.8	18時	9.4	19時～	75.3	無回答	7.0	役割分担	割合 (%)	もっぱら母親が行う	3.1	主に母親が行うが、父親も手伝う	46.2	母親も父親も同じように行く	37.7	主に父親が行うが、母親も手伝う	0.1	もっぱら父親が行う	0	無回答	12.6	役割分担	割合 (%)	もっぱら母親が行う	23.1	主に母親が行うが、父親も手伝う	52.8	母親も父親も同じように行く	10.7	主に父親が行うが、母親も手伝う	0.3	もっぱら父親が行う	0.2	無回答	12.8	<p>〈現状〉</p> <p>・「大分市子育てに関するアンケート調査」の結果によると、父親の帰宅時間が19時以降である割合が7割を超えるとともに、共働き世帯においては、父親の一週間当たりの平均労働時間は53時間と、母親の33時間に比べて長く、父親が育児に参加する時間が少ない状況が見られます。</p> <table border="1"> <caption>父親の帰宅時間 (%)</caption> <tr><th>帰宅時間</th><th>割合 (%)</th></tr> <tr><td>～12時</td><td>2.9</td></tr> <tr><td>13時</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>14時</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>15時</td><td>0.4</td></tr> <tr><td>16時</td><td>1.1</td></tr> <tr><td>17時</td><td>3.2</td></tr> <tr><td>18時</td><td>10.6</td></tr> <tr><td>19時～</td><td>74.8</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>7.0</td></tr> </table> <p>・父親・母親の子育てに関する役割分担に関して、「母親も父親も同じように行く」ことを理想とする保護者は43.9%であるものの、現実として「母親も父親も同じように行く」と回答した人は11.7%でした。</p> <table border="1"> <caption>父親・母親の子育てに関する役割分担に関して(理想) (%)</caption> <tr><th>役割分担</th><th>割合 (%)</th></tr> <tr><td>もっぱら母親が行う</td><td>3.3</td></tr> <tr><td>主に母親が行うが、父親も</td><td>40</td></tr> <tr><td>母親も父親も同じように行く</td><td>43.9</td></tr> <tr><td>主に父親が行うが、母親も</td><td>0.3</td></tr> <tr><td>もっぱら父親が行う</td><td>0.1</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>12.6</td></tr> </table> <table border="1"> <caption>父親・母親の子育てに関する役割分担に関して(現実) (%)</caption> <tr><th>役割分担</th><th>割合 (%)</th></tr> <tr><td>もっぱら母親が行う</td><td>23.9</td></tr> <tr><td>主に母親が行うが、父親も手伝う</td><td>51</td></tr> <tr><td>母親も父親も同じように行く</td><td>11.7</td></tr> <tr><td>主に父親が行うが、母親も手伝う</td><td>0.4</td></tr> <tr><td>もっぱら父親が行う</td><td>0.1</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>13.1</td></tr> </table>	帰宅時間	割合 (%)	～12時	2.9	13時	0.2	14時	0.2	15時	0.4	16時	1.1	17時	3.2	18時	10.6	19時～	74.8	無回答	7.0	役割分担	割合 (%)	もっぱら母親が行う	3.3	主に母親が行うが、父親も	40	母親も父親も同じように行く	43.9	主に父親が行うが、母親も	0.3	もっぱら父親が行う	0.1	無回答	12.6	役割分担	割合 (%)	もっぱら母親が行う	23.9	主に母親が行うが、父親も手伝う	51	母親も父親も同じように行く	11.7	主に父親が行うが、母親も手伝う	0.4	もっぱら父親が行う	0.1	無回答	13.1	<p>アンケート結果を踏まえた記述に変更しました。</p>
帰宅時間	割合 (%)																																																																																																		
～12時	4.1																																																																																																		
13時	0.2																																																																																																		
14時	0.1																																																																																																		
15時	0.3																																																																																																		
16時	0.8																																																																																																		
17時	2.8																																																																																																		
18時	9.4																																																																																																		
19時～	75.3																																																																																																		
無回答	7.0																																																																																																		
役割分担	割合 (%)																																																																																																		
もっぱら母親が行う	3.1																																																																																																		
主に母親が行うが、父親も手伝う	46.2																																																																																																		
母親も父親も同じように行く	37.7																																																																																																		
主に父親が行うが、母親も手伝う	0.1																																																																																																		
もっぱら父親が行う	0																																																																																																		
無回答	12.6																																																																																																		
役割分担	割合 (%)																																																																																																		
もっぱら母親が行う	23.1																																																																																																		
主に母親が行うが、父親も手伝う	52.8																																																																																																		
母親も父親も同じように行く	10.7																																																																																																		
主に父親が行うが、母親も手伝う	0.3																																																																																																		
もっぱら父親が行う	0.2																																																																																																		
無回答	12.8																																																																																																		
帰宅時間	割合 (%)																																																																																																		
～12時	2.9																																																																																																		
13時	0.2																																																																																																		
14時	0.2																																																																																																		
15時	0.4																																																																																																		
16時	1.1																																																																																																		
17時	3.2																																																																																																		
18時	10.6																																																																																																		
19時～	74.8																																																																																																		
無回答	7.0																																																																																																		
役割分担	割合 (%)																																																																																																		
もっぱら母親が行う	3.3																																																																																																		
主に母親が行うが、父親も	40																																																																																																		
母親も父親も同じように行く	43.9																																																																																																		
主に父親が行うが、母親も	0.3																																																																																																		
もっぱら父親が行う	0.1																																																																																																		
無回答	12.6																																																																																																		
役割分担	割合 (%)																																																																																																		
もっぱら母親が行う	23.9																																																																																																		
主に母親が行うが、父親も手伝う	51																																																																																																		
母親も父親も同じように行く	11.7																																																																																																		
主に父親が行うが、母親も手伝う	0.4																																																																																																		
もっぱら父親が行う	0.1																																																																																																		
無回答	13.1																																																																																																		

<基本施策と事業・取組>

分野	4 社会全体での支援																															
目標	10 仕事と子育ての両立支援	基本施策	②男性の育児参加の促進																													
現行計画		次期計画案		見直し理由等																												
<p><課題> ・仕事も家庭も大切にしたいという男性の声や共働き世帯の増加に伴い、男性の育児参加のための取り組みが必要です。</p> <p><主な事業・取組> ①父親向け育児講座の開催 父親を対象にした育児の講座を開催し、父親の育児参加を促進します。</p> <p><個別事業の指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>指標</th> <th>H25実績</th> <th>H31目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①父親向け育児講座の開催</td> <td>講座開催回数</td> <td>0回</td> <td>8回</td> </tr> </tbody> </table> <p><成果指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H25実績</th> <th>H31目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内企業における男性職員の育児休業取得率</td> <td>2.27%</td> <td>13%</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	指標	H25実績	H31目標	①父親向け育児講座の開催	講座開催回数	0回	8回	指標	H25実績	H31目標	市内企業における男性職員の育児休業取得率	2.27%	13%	<p><課題> ・仕事も家庭も大切にしたいという男性の声や、共働き世帯の増加に伴い、男性の育児参加のための取組が必要です。</p> <p><主な事業・取組> ①父親向け子育て教室の開催 父親が参加しやすい土曜、休日に子どもと一緒に楽しめる子育て教室や父親向け講座等を開催し、父親の参加を一層促進するとともに、父親の育児を支援する取組を行います。</p> <p><個別事業の指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>指標</th> <th>H30(2018)実績</th> <th>R6(2024)目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①父親向け子育て教室の開催</td> <td>子育て教室開催回数</td> <td>6回</td> <td>8回</td> </tr> </tbody> </table> <p><成果指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H30(2018)実績</th> <th>R6(2024)目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内の男性の育児休業取得率</td> <td>4.12%</td> <td>増加</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	指標	H30(2018)実績	R6(2024)目標	①父親向け子育て教室の開催	子育て教室開催回数	6回	8回	指標	H30(2018)実績	R6(2024)目標	市内の男性の育児休業取得率	4.12%	増加	
事業名	指標	H25実績	H31目標																													
①父親向け育児講座の開催	講座開催回数	0回	8回																													
指標	H25実績	H31目標																														
市内企業における男性職員の育児休業取得率	2.27%	13%																														
事業名	指標	H30(2018)実績	R6(2024)目標																													
①父親向け子育て教室の開催	子育て教室開催回数	6回	8回																													
指標	H30(2018)実績	R6(2024)目標																														
市内の男性の育児休業取得率	4.12%	増加																														

<基本施策と事業・取組>

分野	4 社会全体での支援		
目標	10 仕事と子育ての両立支援	基本施策	③若者の自立支援
現 行 計 画		次期計画案	
見直し理由等			
<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長過程の中で学齢期から青年期にかけては、社会的な自立に加え経済的な自立を果たすことが必要となります。 ・「結婚や子育てに関するアンケート調査」によると、将来に夢や希望を持っていると答えた中高生の割合は70.5%でした。 ・全国調査によると、新規学卒就職者の離職率は、平成22年において、中学卒62.1%、高校卒39.2%、大学卒31.0%となっています。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校から職場へ円滑に移行するために、在学中から職業意識を涵養するとともに、離職率が高いとされる中学卒・高校卒の若者の早期離退職を予防する取組みが必要です。 ・若年勤労者に対し、キャリア形成の機会を提供することで、経済的自立を促す取組みも必要です。 	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長過程の中で、学齢期から青年期にかけては、社会的な自立に加え経済的な自立を果たすことが必要です。 ・「結婚や子育てに関するアンケート調査」によると、「将来に夢や希望を持っている」と答えた中高生の割合は60.7%でした。 ・厚生労働省が行った全国調査によると、新規学卒就職者の就職後3年以内の離職率は、平成27(2015)年3月卒業者で、中学卒64.1%、高校卒39.3%、大学卒31.8%となっています。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校から職場へ円滑に移行するとともに、離職率が高いとされる中学卒や高校卒の若者の早期離退職を予防するため、在学中から職業意識をかん養する取組みが必要です。 ・若年勤労者とりわけ中学卒の労働者に対し、キャリア形成の機会を提供することで、経済的自立を促す取組みも必要です。 	<p>調査結果を踏まえた記述に変更しました。</p>	

(仮称)第2期すくすく大分っ子プラン(案)

<基本施策と事業・取組>

分野	4 社会全体での支援																																							
目標	10 仕事と子育ての両立支援	基本施策	③若者の自立支援																																					
現 行 計 画		次期計画案																																						
<p><主な事業・取組></p> <p>①若年者等へのキャリア形成支援 若年労働者が自らの仕事の紹介や体験談などを中学生に講演することで、職業人としての責任と自覚を再認識し、職業の定着を図ると共に、中学生にとっては先輩職業人の話を聞くことで職業意識の向上を図ります。</p> <p>②若年層への就労支援 求職中の若者を対象にした事業所見学や、就職活動に向けた実践的な内容を学ぶセミナーを開催し、就職活動を支援します。また大分市立エスペランサ・コレジオ(「各種学校」)において、勤労青少年を対象に、資格取得をサポートするための講座等を開講します。</p> <p><個別事業の指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>指標</th> <th>H25実績</th> <th>H31目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①若年層等へのキャリア形成支援</td> <td>中学校での実施校数</td> <td>延べ23校</td> <td>27校</td> </tr> <tr> <td>②若年層への就労支援</td> <td>事業所見学会の参加延べ人数</td> <td>73人</td> <td>増加</td> </tr> </tbody> </table> <p><成果指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H25実績</th> <th>H31目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>将来の夢や希望を持っていると答える中高生の割合</td> <td>70.5%</td> <td>増加</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	指標	H25実績	H31目標	①若年層等へのキャリア形成支援	中学校での実施校数	延べ23校	27校	②若年層への就労支援	事業所見学会の参加延べ人数	73人	増加	指標	H25実績	H31目標	将来の夢や希望を持っていると答える中高生の割合	70.5%	増加	<p><主な事業・取組></p> <p>①若年者等へのキャリア形成支援 中学生が、比較的年の近い若者から仕事の志望動機や業務内容についての講演を聴き、働くことの社会的意義を感じることで、早い段階からの職業観の形成を図ります。</p> <p>②若年層への就労支援 求職中の若者を対象に就職活動に向けた実践的な内容を学ぶセミナーを開催し、就職活動を支援します。また大分市立エスペランサ・コレジオ(「各種学校」)において、勤労青少年を対象に、資格取得をサポートするための講座等を開講します。</p> <p><個別事業の指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>指標</th> <th>H30(2018)実績</th> <th>R6(2024)目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①若年層等へのキャリア形成支援</td> <td>中学校におけるキャリア教育コーディネーター等を活用した職業講話の実施率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>(削除)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><成果指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>R1(2019)実績</th> <th>R6(2024)目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アンケート調査において、将来の夢や希望を持っていると答えた中高生の割合</td> <td>60.7%</td> <td>増加</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	指標	H30(2018)実績	R6(2024)目標	①若年層等へのキャリア形成支援	中学校におけるキャリア教育コーディネーター等を活用した職業講話の実施率	100%	100%	(削除)				指標	R1(2019)実績	R6(2024)目標	アンケート調査において、将来の夢や希望を持っていると答えた中高生の割合	60.7%	増加	<p>見直し理由等</p> <p>若年者を対象とした事業所見学会は平成29年度で終了したことから削除しました。</p> <p>①「大分市教育ビジョン」の取組指標の表記に修正しました。</p> <p>②若年者を対象とした事業所見学会は平成29年度で終了したことから削除しました。</p>
事業名	指標	H25実績	H31目標																																					
①若年層等へのキャリア形成支援	中学校での実施校数	延べ23校	27校																																					
②若年層への就労支援	事業所見学会の参加延べ人数	73人	増加																																					
指標	H25実績	H31目標																																						
将来の夢や希望を持っていると答える中高生の割合	70.5%	増加																																						
事業名	指標	H30(2018)実績	R6(2024)目標																																					
①若年層等へのキャリア形成支援	中学校におけるキャリア教育コーディネーター等を活用した職業講話の実施率	100%	100%																																					
(削除)																																								
指標	R1(2019)実績	R6(2024)目標																																						
アンケート調査において、将来の夢や希望を持っていると答えた中高生の割合	60.7%	増加																																						